

多様な学びと交流を創出 「EI 創発工学館」竣工

国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学は、山手通りに面し、地下鉄出入口にも近いキャンパスの中心部(工学部 7 号館跡地)に、多様な学びと交流を生み出す場として「EI 創発工学館」(※)を竣工しました。

※EI 創発工学館: Emergent/Innovative Engineering Building

同館には、工学系を中心に、多様な研究実験施設や講義室、産学連携フロアを整備したほか、館内の各所に机や椅子を置いた共用スペースを配置し、学生や教職員が学び、集うことのできる「居場所」を創出しました。

このほか、地域連携グローバル人材育成拠点として、食堂や売店などの福利厚生施設を併設し、学生広場を整備するなど、キャンパスを行き交う人々の流れをうみ出し、学内外の人々が交流する場として活用していきます。

研究においては、同館の整備に合わせて工学部、工学研究科の機械系、物質科学系組織を集約し、産業集積地である「東海地域」において、研究力を強化し、産学連携の活性化に貢献する環境を整備しました。また、結晶材料分野における優れた実績をベースに、学内外のハブ機能を担う工学研究科附属クリスタルエンジニアリング研究センターを新設しました。最先端研究と産学連携の拠点形成によって、基礎研究から得られるシーズを社会のニーズを満たすイノベーションに繋げることを目指します。

教育においては、館内に移設した創造工学センターで、体験型のものづくりを中心とした課題発見・解決型の講義を通じて、学生に工学の必要性や学問の方向性を実感・納得させる教育を行っています。

特に、大学院生向けプログラム「イノベーション体験プロジェクト」では、企業在職の第一線の専門家を講師に招き、プロジェクトテーマに対して 5~6 人の少人数チームが知識習得・現地調査・立案・実験実践等を経て課題達成に導く教育を実践しています。

なお同館は、そのスペースの一部を民間企業からのご支援により整備しました。

EI 創発工学館概要 (名古屋市千種区不老町)

- ・敷地面積: 約3,300㎡
- ・延床面積: 約14,600㎡
- ・階数: 地上 8 階建